

第2回スクールドッグ触れ合い体験を行いました

本日7月6日（月）、今年度2回目となる「スクールドッグ触れ合い体験」を実施しました。今回もPTAのボランティアの皆様にご協力をいただいたほか、地域の皆様にも生徒たちが犬と触れ合う様子を参観していただきました。お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。

2校時には、スクールドッグ協会の青木さんをお招きし、1年生を対象に「犬へのかかわり方」についてのお話をいただきました。講話の中で青木さんは、犬の目の高さにそろえることや優しい気持ちで接することなど、犬の気持ちになって考えることの大切さを教えてくださいました。そして、その姿勢は犬に対してだけでなく、普段の生活の中で目の前の相手を思いやる気持ちにも深くつながっているという、大切なメッセージをいただきました。講話の後は、実際にスクールドッグとの触れ合い体験を実施。生徒たちは教わったことをさっそく実践し、優しい笑顔で犬たちと心を通わせていました。

本校がスクールドッグを導入している背景には、単なる癒やしだけでなく、教育的な目的があります。犬との触れ合いを通じて情緒の安定を図ることはもちろん、言葉の通じない動物の気持ちを想像することで共感力や相手を思いやる心を育むことを目指しています。

2校時の授業後も、休憩時間や昼休みの時間を利用して、たくさんの生徒たちがスクールドッグの元へ集まりました。犬たちの周りには自然と温かい笑顔の輪が広がり、普段は見られないようなリラックスした表情で楽しそうに語り合う生徒たちの姿が印象的でした。

今年度のスクールドッグ触れ合い体験は、年間5回を予定しており、今回で2回目が終了しました。次回も、生徒たちが命の温もりを感じ、豊かな心を育む貴重な機会にしていきたいと思っています。ご協力いただいたスクールドッグ協会の皆様、PTA・地域の皆様、本当にありがとうございました。

